

千葉県動物愛護センターも 東京都の動物愛護相談センターと同じように
人と動物がともに住みよい社会を作ることを仕事の目的としています。

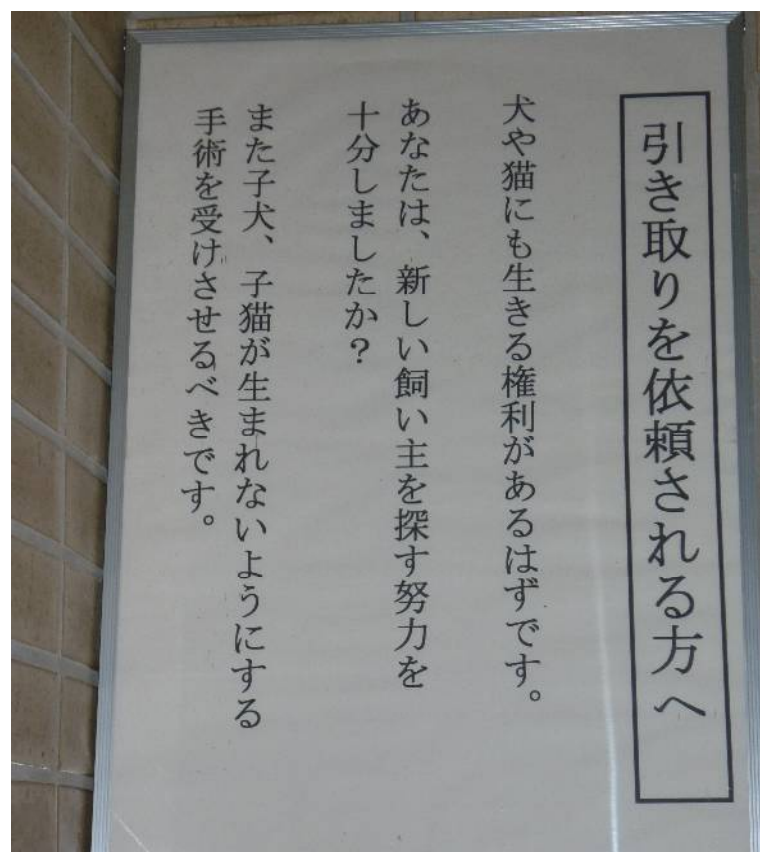


写真左
千葉県動物愛護センターの表札

写真右
玄関に貼られたポスター類には、本来の業務目的が示されています。

- ・動物由来感染症
- ・4月5月6月は 狂犬病予防注射月間
- ・考えようペットのごはん
- ・犬の飼い主検定
- ・EXILE 起用の動物愛護ポスター

しかし・・・平成20年度千葉県動物愛護センターに収容された犬ねこは12,537匹。
犬やねこを引き取ってくれる施設とと思っている人も少なくありません。
収容された犬5,525匹のうち、飼い主持ち込みは2,081匹。
実に飼い主によって持ち込まれる犬の数は38%にのぼります。



写真左
センター受付の横、最終メッセージ
＜引き取りを依頼される方へ＞

- ・犬や猫にも生きる権利があるはずですが。
- ・あなたは、新しい飼い主を探す努力を十分しましたか？
- ・また子犬、子猫が生まれないようにする手術を受けさせるべきです。

写真右
保健所から移送されてきた犬
(翌日 殺処分になります)

収容された犬やねこがセンターから出るためには 次の3ケースに限られます。

- 1、家族と連絡がつき、迎えに来た場合、または、家族が探しに来た場合。
- 2、センターの譲渡会で新しい家族が見つかった場合。
- 3、ボランティアが引き取った場合。

平成20年度 千葉県動物愛護センターから出ることができた犬は 27% (1,506匹) 東京都の83%を大きく下まわっています。

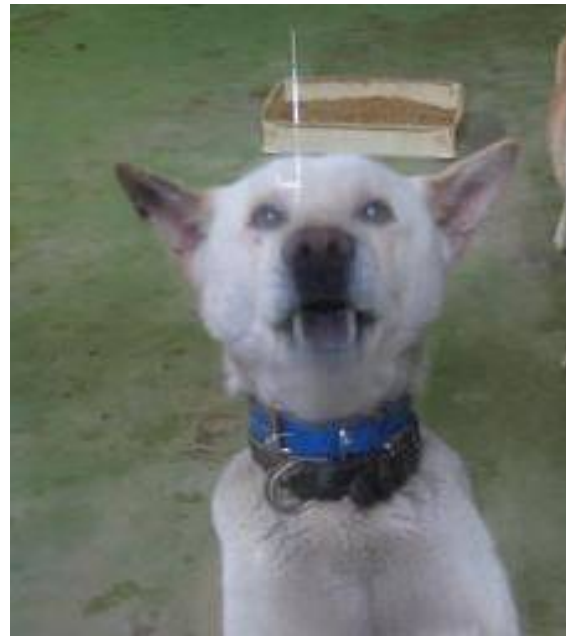


写真 左から
マイクロチップ読み取り機で チップの有無を確認中。(マイクロチップで飼い主が判るのは 千葉県の場合年間1, 2匹)

首輪を2個もつけているが 連絡先がなく最終部屋にいる犬

収容犬がつけていた「Bezky」という名前だけの名札

1匹でも多く ここから出られるようにと シャンプー、トリミング、清掃などで職員をサポートするボランティアたち



写真 左から
譲渡に向けてシャンプー、トリミングをしてもらう犬たち

感染症を防止するため 検疫室の清掃(エアコンのない部屋で 真夏でも上下レインコートを着ての作業ですが 終わった後はすがすがしい気分だそうです)

センター内の写真は 千葉県動物愛護センターにて 撮影